

閣印第五九號

起

昭和十六年三月三日

閣議決定昭和十六年三月四日施行

昭和十六年三月四日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

逓信大臣

厚生大臣

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

礦務大臣

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

拓務大臣

別紙企畫院總裁上申

國家總動員業務委員會及生

産力擴充委員會廢止ノ件
右閣議ニ供ス

通牒案

昭和十六年三月四日

内閣書記官長

企畫院總裁宛

依命通牒

昭和十六年三月三日上申（企畫院上申）
第五三號

國家總動員業務委員會及生産
力擴充委員會廢止ニ関スル件上
中、通閣議決定相成候

官報掲載案

○官廳事項

○生産力擴充委員會廢止 曩ニ内閣
ニ設置シタル生産力擴充委員會ハ昨四
日之ヲ廢止セリ (昭和三十二年四月三日官報)

(註)

國家總動員業務委員會、設置の際
官報不登載、モノナリ

主任 山越文書課長

企畫院上申第五三號

昭和十六年三月三日

企畫院總裁 星野直



内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

國家總動員業務委員會及生産力補充委員會廢止ニ關スル件

國家總動員業務委員會及生産力補充委員會ノ設置目的トスル所ハ
特ニ委員會ノ措置ニ依ラザルモ達成シ得ラルベキヲ以テ昭和十五
年八月九日臨時決定「各種委員會調査會等ノ整理ニ關スル件」ニ
則リ此ノ際ハ之ヲ廢止セントス依テ別紙ノ通牒議決定相成様故度
此段及上申候

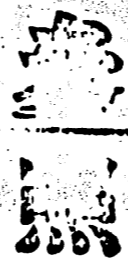
附甲五九

内

閣

國家總動員業務委員會及生産力擴充委員會廢止ニ關スル件

昭和十三年九月二十三日閣議決定「國家總動員業務委員會規程」及昭
和十四年三月十一日閣議決定「生産力擴充委員會規程」ハ之ヲ廢止ス



國家總動員業務委員會規程

(制定) 昭和二三 九 二三閣議決定
(改正) 昭和一五 六 四閣議決定

第一條 國家總動員業務委員會(以下單ニ業務委員會ト稱ス)ハ内閣總理大臣ノ監督ニ應シ各廳總動員業務ヲ調整統一シ其ノ適正圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 業務委員會ハ國家總動員上必要ナル事項毎ニ企畫院總裁之ヲ設置ス

第三條 業務委員會ハ委員長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 委員長ハ企畫院次長又ハ企畫院部長ヲ以テ之ニ充ツ
委員ハ企畫院及關係各廳高等官ノ中ヨリ企畫院總裁之ヲ指命又ハ委嘱ス

第五條 業務委員會ニ幹事ヲ置ク幹事ハ企畫院及關係各廳高等官ノ中ヨリ企畫院總裁之ヲ指命又ハ委嘱ス

業務委員會ニハ必要ニ應ジ幹事長ヲ置クコトヲ得幹事長ハ企業院高等官ノ中ヨリ企業院總裁之ヲ指命ス

第六條 本規程ニ定ムルモノノ外業務委員會ニ關シ必要ナル事項ハ企業院總裁之ヲ定ム

8-2



生産力擴充委員會議規程

昭和十四年三月一日
閣議決定

第一條 生産力擴充委員會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬シ生産力擴充計畫ノ適正ナル實施ヲ促進シ關係各廳事務ノ調整統一ヲ圖ル爲生産力擴充計畫實施ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 生産力擴充委員會ハ會長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ企畫院總裁ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ企畫院及關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ジ又ハ
託ス

第四條 會長ハ職務ヲ總理ス

會長事務アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
第五條 會長ハ必要ニ依リ委員會ニ分科會ヲ置キ其ノ所掌事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

分科會ニ委員長ヲ置ク會長又ハ會長ノ指名スル委員之ニ當ル

分科會ニ屬スベキ委員ハ會長之ヲ指名ス

委員會ハ其ノ定ムル所ニ依リ分科會ノ決議ヲ以テ委員會ノ決議ト爲スコトヲ辨

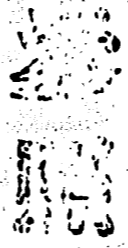
第六條 委員會ニ幹事長及幹事ヲ置ク

幹事長ハ企畫院高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

幹事ハ企畫院及關係各高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ジ又ハ囑託ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七條 委員會ニ關スル事務ハ企畫院ニ於テ之ヲ處理ス

第八條 本規程ニ定ムルモノノ外委員會ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム



各祖委員會、調査會等ノ整理ニ關スル件

(一五八九)
閣議決定

各祖委員會、調査會等各廳ニ設置セラレアル調査審議機關(法律若ハ
勅令ニ依ルモノト閣議決定ニ依ルモノト省限リノモノ等トヲ區別セズ)
ハ左記ニ依リ此ノ際之ガ整理更新ヲ斷行スルコト

記

一、左記各號ニ該當スル委員會等ハ遂ニ之ヲ廢止スルコト

(1) 審議調査ノ職務終了シ存置ノ要ナキモノ

(2) 調査審議ノ内容他ノ委員會、調査會等ト類似シ又ハ重複セル
アルモノ

(3) 委員會等ノ設置當時ノ意義ヲ喪失シ又ハ其ノ存置ノ意義乏シキ
ニ至リタルモノ

(4) 委員會等ノ開會セザルコト長期ニ亘ルモノ又八年一、二回開會

スルモ形式的齟齬ヲナスニ止マルモノ

(5) 關係各縣ノ關係官ヲ以テ組織セラルル委員會等ニシテ知縣ノ内
容ハ寧ロ關係各縣ノ協議等ヲ以テ足レリト認メラルルモノ

二、前項ニ該當セザル委員會等ト雖今日ノ舉態ニ即應シ概ネ左記各號

ニ付考慮ノ上徹底的再検討ヲ加ヘ之ガ整理更新ヲ斷行スルコト

(1) 行政事務處理ノ敏活迅速ヲ期スルコト

(2) 民意暢達方法ノ形式化ヲ避ケ實效アル新方法ヲ工夫スルコト

(3) 民間者ノ智識經驗ノ利用方法ニ付一層前率的ナル方途ヲ講ズル
コト

(4) 關係各縣間ノ連絡ニ付一層簡易且融通性アル方法ヲ採ルコト

三、 前二項ニ依リ各處ハ所管ノ委員會等ノ整理更新案ヲ作成シ理由ヲ
附シテ八月末日迄ニ内閣ニ提出スルコト

87

